

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

### .理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

### .安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

### .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

### .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

### .サービスの成果に関する項目

**ホップ 職員みんなで自己評価!**  
**ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!**  
**ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!**

- サービス向上への3ステップ -

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

### 用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。

(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人の関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。

関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名

グループホーム・土 香 里

(ユニット名)

木 の 花

記入者(管理者)

氏 名

久 保 早 苗

評価完了日

平成 19 年 8 月 4 日

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成19年10月18日

【評価実施概要】

事業所番号	3871000414		
法人名	有限会社 土香里		
事業所名	グループホーム・土香里		
所在地	伊予市大平字片山甲225-1 (電話) 089-983-6080		
管理者	久保 早苗		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市三番町六丁目5-19 扶桑ビル2階		
訪問調査日	平成19年8月20日	評価確定日	平成19年10月18日

【情報提供票より】 (平成19年8月6日事業所記入)

(1)組織概要			
開設年月日	平成16年10月21日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	21 人	常勤	16人, 非常勤 5人, 常勤換算 17.2人
(2)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	38,000 円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷金	有( 円) (無)		
保証金の有無(入居一時金含む)	有( 円) (無)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	250 円	昼食 350 円
	夕食	550 円	おやつ 円
	または1日当たり 円		
(3)利用者の概要 (平成19年8月6日現在)			
利用者人数	18 名	男性 4 名	女性 14 名
要介護1	4 名	要介護2	3 名
要介護3	6 名	要介護4	4 名
要介護5	1 名	要支援2	0 名
年齢	平均 78 歳	最低 63 歳	最高 89 歳
(4)他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定 (あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護		
指定 あり・(なし)	指定認知症対応型通所介護		
届出 あり・(なし)	短期利用共同生活介護		
加算 (あり)・なし	医療連携体制加算		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>理念の一つに「昔ながらの古き良き近所づきあいを大切に」を掲げ、地域の人の「駆け込み寺のような所でありたい」と考え、日々取り組んでおられた。                  ゆっくり話をしながら食事をされたい方は、職員とともにたたみの間で食事をされており、利用者同士、お若い頃のお話で会話がはずみ、職員も交えて楽しい食事の様子がうかがえた。                  ご本人の希望に沿ったしつらえを支援されており、たんすや机・ポータブルトイレ等を持ち込んでおられる方もあった。</p>
---

【質向上への取組状況】

<p><b>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</b></p> <p>・前回の評価結果を受け、個別の記録の見直しやカンファレンスの回数を増やす等改善に取り組みました。</p>
<p><b>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</b></p> <p>・職員で自己評価の項目を分担し、運営者・ケアマネージャもともに自己評価に取り組みました。</p>
<p><b>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</b></p> <p>・地域のお年寄りの見守りとして、事業所が通報システムの拠点となれないかという事を提案され、市の担当者や地域の方達と話し合いがなされた。</p>
<p><b>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</b></p> <p>・ご家族の来訪時等に意見や要望をお聞きしている。運営推進会議には、ご家族が多数参加されている。</p>
<p><b>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</b></p> <p>・事業所近くで地域の夏祭りが開催される折には、事業所のトイレを使用できるようされている。又、大正琴の演奏等、地域の人のお稽古ごとの発表の場に事業所を使っていたりしている。</p>

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>・理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			昨年、理念を法人代表と職員と共に考え直し変更。職員の思いを素直に取り入れた、地域密着の土香里らしい理念になったと思う。		
			(外部評価)		
			理念の一つに「昔ながらの古き良き近所づきあいを大切に」を掲げ、地域の人の「駆け込み寺のような所でありたい」と考え、日々取り組んでおられた。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			法人代表、管理者も日々ケアに携わり、理念の実践の為職員と共に努力している。しかし、職員全員が理解できているかは疑問。		月に1回以上のカンファレンス時や、ミーティング時には理念が実践できているか、理解できているか確認の必要がある。
			(外部評価)		
			理念に基づきユニット毎に今年の目標を掲げ、理念の実践に向けて取り組まれている。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)		
			運営推進会議にて家族、地域の方々に報告し、納得のうえ理解していただいていると思うが、入居時には理念についてあまり触れていない。		入居時には、理念について理解できるような書面を用意し、しっかりと説明する必要がある。

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期待 したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 地域との支えあい</b>					
4		<p>隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>(自己評価) ご近所から野菜等を頻繁にいただいたり、こちらから手作りのお菓子を持って行ったり、一緒に食事を作ったりしている。子供たちも気軽に遊びに来てくれる。</p>		
5	3	<p>地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>法人代表が、地域の常会に毎月出席したり、組内の役員としてお祭りや、清掃に参加している。また、組内の冠婚葬祭のお手伝いも積極的にしている。地域の楽しいイベントのお誘いもあったり、地元の商工会の会員として、交流を楽しんでいる。近くの小学校との交流も多い。</p>		
6		<p>事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) ご近所からの介護相談を、時々受け親身に対応している。</p>		<p>地域に高齢者の独居が多いため、通報システムを利用して、電話、訪問による安否確認等できないか検討中であり、実際に関係市、ご家族、地域の方とも検討を進めている。</p>
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
7	4	<p>評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 昨年の外部評価を読み返し、具体的な改善を出来ることから実行している。自己評価はカンファレンスやミーティング等で職員全員で話し合いし、その時点で気付くことも多く、早急に改善できることは改善実行している。</p>		
			<p>(外部評価) 職員で自己評価の項目を分担し、運営者・ケアマネージャもともに自己評価に取り組まれた。前回の評価結果を受け、個別の記録の見直しやカンファレンスの回数を増やす等改善に取り組まれた。</p>		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)		
			スライドを利用した活動や取組みの報告。 食事しながらの意見交換時も、意見が出易く時間が足りないくらい。その場で意見を出し難い方も居ると思 い、匿名でのアンケートも活用している。出された意見は大切に議事録に記録して送付し、ミーティングで検討したうえで改善実行している。		
			(外部評価)		
			地域のお年寄りの見守りとして、事業所が通報システムの拠点となれないかということ提案され、市の担当者や地域の方達と話し合いがなされた。		
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価)		
			法人代表、職員が相談があるたびに市や社協に行っている。また、市や社協の勉強会にも積極的に参加している。		
			(外部評価)		
			市の介護相談員が毎月訪問されている。		市の担当者の方達にも事業所の取組みを深く知っていただけるよう、今後も、事業所から働きかけていけることが期待される。
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)		
			法人代表や管理者は勉強し、理解しており、他施設からの相談にもものっているが、職員は学ぶ機会を持っていない。		職員が学べる勉強会が必要。普段のミーティングの時間を少し割り当てる。
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			法人代表が職員と方を並べて仕事し、職員とのコミュニケーションを大切に、ストレスを溜めないのが何よりと努力しているが、職員が虐待について学ぶ機会がない。		職員が学べる勉強会が必要。普段のミーティングの時間を少し割り当てる。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 重要事項説明には十分時間をとっているが、特筆すべき事項以外は書面を読み上げるだけになっている。家族側の不安点、疑問点については、納得できるまで施設見学していただき、その時に話し合っている。		契約後に書面を読み返した時に補足説明のいない、契約書、説明書の作成が必要。
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 何気ない日常会話の中で、利用者の思いを察する努力をしている。利用者の不満や意見がある場合は、すぐに話し合っている。		家族の訪問時に利用者の意見を伝えていただいたり、介護相談員の月に一度の訪問や、相互評価も活用している。
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 健康状態に異変があればすぐに連絡している。利用料の請求時に担当職員から、生活状況を含めた手紙を同封し、金銭(お小遣い)については月の収支表も用途明確にし、送付している。また、職員の移動があれば、体制を明記した書面も同封している。		家族によって、連絡してもらいたい体調異変の程度が異なるため(施設から電話がかかると不安になる。)、どうすればいいか検討中。
			(外部評価) 利用者の様子を毎月、手書きの手紙でお知らせされている。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 殆どのご家族は、面会時に法人代表や職員へ意見、苦情があれば伝えてくれる。また、言い難い場合は苦情窓口として、国保連、市担当課の電話番号を書面で伝えており、施設玄関に意見箱を設置している。		最近、苦情対策委員会を職員内で設置した。
			(外部評価) ご家族の来訪時等に、意見や要望をお聞きしている。運営推進会議には、ご家族が多数参加されている。		さらに、今後もご家族が意見を出しやすいような工夫を重ねていかれることが期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 法人代表や管理者も、現場で職員と肩を並べて一緒に介護している為、職員の意見や提案を聞く機会は常であり、話題がいつも共有できている。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 職員同士の臨機応変な話し合いによって、迅速に勤務調整できている。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 退職者が出た場合以外は、移動の無いようにしている。また、担当制を導入している為、担当職員が利用者を把握できるよう担当の移動も抑えている。		
			(外部評価) 新人職員は、利用者全員の様子を把握した後、利用者個々の担当となるようにされている。		
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 研修や学習会においては、希望者が重なったり、勤務表の作成後では、なかなか受講できない。勤務内で色々な介護に関する案を積極的に出し、実施しているが、幅広いスキルアップには至っていない。		受講した職員が主になり、計画性のある勉強会を実施するようにしたい。
			(外部評価) 職員は、勤務ローテーションのこともあり、外部研修への参加は少な目となっている。		法人代表者は、内部、外部研修の受講を計画的にすすめ、職員全体のスキルアップから事業所のさらなる質の向上を目指していきたいと考えておられた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			職員が、グループホーム間の相互評価にも積極的に参加したり、法人代表が他施設間の交流を充実させるべく、頻繁に訪問し、見つけたアイデアを実行、検討している。		
			(外部評価)		
			市内7ヶ所のグループホーム事業所で連絡会を設けておられ、情報交換等ネットワーク作りをされている。		
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			法人代表が職員同様の勤務に就き、精神的負担の大きい仕事内容を把握し、職員と共に検討し改善に努めている。		完全に勤務から外れることのできる休憩時間の確保ができない。
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			法人代表が職員同様の勤務に就き、勤務に関する提案を職員共に検討し、まずは実行するように心がけ、それぞれの職員の意見を尊重している。		
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			必ず利用者本人に、数回見学していただき、職員と十分な会話とコミュニケーションを図ったうえで、入居決定している。また、希望あれば一緒に食事したり、イベントに参加していただいたりしている。		



自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 法人代表自身も介護経験があるため、悩み、不安を共有し易く、親身な話ができ信頼関係が築けている様と思う。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 社会福祉協議会や地域支援センター等、相談時に利用されている他の事業所とも連絡、連携をとり対応している。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 入居相談時には、家族、本人に見学に来ていただき、気に入ったうえで入居させていただいている。また、本人が来所できない場合は、職員が出向き十分な会話をするようにしている。 (外部評価) 入居前に、ご本人やご家族に何回か来訪いただき、他の利用者とともに食事をされたり、場の雰囲気に馴染んでいただけよう取り組まれている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 一緒にドライブしたりして感動を共有したり、漬物の作り方や、農作物の指導などの得意分野を職員が頼りにしている。 (外部評価) 職員は、利用者に調理方法等を教えてもらったり、味をみてもらいながら食事作りをされていた。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 面会時には、本人の日々の様子やエピソードなどを伝えるようにしている。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 本人の思い、家族の思いを傾聴し、対応している。日頃来れない家族に対しては、月に一度手紙を書いたりしている。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価) 本人にとって懐かしい場所へドライブに行ったり、昔からの馴染みのかかりつけ医を優先し受診している。		
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 利用者同士の関係は、常に職員が把握するように努め、日常のレクリエーションやドライブを利用している。		利用者のいざこざに必要であれば職員が介入しているが、利用者同士のトラブルが発生することがあり、検討を重ねている。
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 退去された方にも、イベントの案内を送付したり、手紙を書いたりしている。また、退去された後にも気軽に来所して下さる家族も居られる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 出来る限り、本人に聞くようにしている。		
			(外部評価) センター方式の書式を用いて、利用者個々の思いや意向の把握に努めておられる。又、職員の日々の気付きを書きとめ、介護計画作成に活かせるよう努めておられる。		
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 本人や家族との日常会話から新しい情報があれば、職員間で情報の共有ができるよう申し送っている。		
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 利用者個々の一日のリズム(睡眠、入浴)で過ごす事ができるように対応している。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) カンファレンスにて職員間で情報を密にして対応。活発な意見交換でのアイデアを大切に検討し、ケアプランに反映させている。		
			(外部評価) 日々の記録や職員の意見を聞きなが介護計画を作成されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			現状に即してケアプランを立て、身体低下などの変化が見られた場合には、随時、担当者とケアマネが話し合い変更している。		
			(外部評価)		
			入居間もない時には1ヶ月、その後は3ヶ月毎に見直しされている。又、毎月、評価やモニタリングされている。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			日々の記録と共に、気づいたことを職員が自由に書き込めるよう、書式を定めず日々新しい情報を共有できるようにしている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			医療度の高い利用者に対しては、24時間医師に連絡が取れる体制をとり、急変時に対応できるようにしている。		
			(外部評価)		
			事業所には、ご家族が泊まれるよう部屋や布団を用意されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 地元の小学校や、趣味サークルの方などにボランティアをお願いし、交流を図っている。		
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) ケースがない。		過去における事例はないが、必要となる場合は積極的に利用したい。
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) ケースがない。		過去における事例はないが、必要となる場合は積極的に利用したい。
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 本人が行きなれた受診先へ職員がおつれしている。  (外部評価) 必要に応じてかかりつけ医の往診が受けられるようになっている。透析に通われる方は職員が送り迎えをされている。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 本人が行きなれた病院に受診していただき、日常の行動等治療に必要な情報を提供し、診断にもとづき介護にも利用している。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 施設内勤務の看護師と日常的に相談している。利用者の日々のバイタルも毎朝及び、適宜測定している。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 緊急時及び入院した場合、10日前程度のバイタル及び健康状態をPC出力し、搬送時、受診時に担当医手渡すようにし、介護情報提供書も届けるようにしている。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 今までにターミナルで見送った例においては、主治医と家族と法人代表を含む職員によって、連絡を取り合い、方針を定める事が出来た。  (外部評価) ご本人に関わる人たちの協力を得ながら、事業所で看取りをされた事例もある。		さらに、事業所では、看取りの体制作りとして、職員の体制やご家族や医師との連携について、話し合っていきたいと考えておられた。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 日常から利用者本人の意向を取り入れ、後悔しないために、利用者からでた小さな希望を、ユニット職員全員で共有し、カンファレンス時に検討している。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 利用者の担当職員とケアマネージャーと法人代表によって、新しい居所の介護者の方と情報交換を行っている。移った後も、暫くは時折訪問している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>					
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>					
<p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
50	20	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>(自己評価) 個人個人にあった声掛け支援をし、利用者の活気を向上できるよう努力しているが、時折、プライバシーの点から疑問を感じる声掛けを耳にすることがある。</p>		<p>何気ない言葉の気遣いに加え、声の大きさにも気をつける必要がある。これらを職員が共有することが必要。</p>
		<p>(外部評価) 職員は、利用者にやさしく接しておられるが、声かけや声の大きさ等、気になるような場面も見受けられた。</p>		<p>職員の利用者への関わり方について、今後も話し合いを重ね、職員間で共有し取り組んでいかれることが期待される。</p>	
51		<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>(自己評価) 利用者と一緒にゆっくりと会話することを心がけている。</p>		
52	21	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>(自己評価) 勤務についている職員の人数や業務によっては、利用者の急な希望にそえないことがある。</p>		
		<p>(外部評価) 職員が、忙しいような時には、職員のペースになってしまうようなこともある。</p>		<p>細やかなケアを行うことがグループホームの特徴でもあり、職員で、利用者個々らしい暮らしについて話し合い、さらに、その人らしい暮らしを支えていけるような取り組みが期待される。</p>	

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 月に一度、カットサロンから理容師が来ているが、施設側の無料サービスとしているため、そのサービスを利用したい家族の意向が多く、本人の望む理美容室には行けていない。		利用者の行きたい理美容があるか、利用者との会話の中で聞いてみる必要がある。家族の意向よりも、まず、本人の意向を優先できないか要検討。
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 利用者と一緒にゆっくり会話しながらの食事を心がけているが、身体的な理由もあり、食事作りの手伝いが可能な利用者は限られる。 (外部評価) ゆっくり話をしながら食事をされたい方は、職員とともにたたみの間で食事をされており、利用者同士、お若い頃のお話で会話がはずみ、職員も交えて楽しい食事の様子がうかがえた。		
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 健康状態に支障がなければ、嗜好の制限はなく、楽しんでもらっている。		
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 排泄パターンの把握に努め、努力しているが、紙から布パンツへの移行時には、失禁させてしまうことが時々ある。		



自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			入浴時間は定めていないが、入浴日については、外出日を決めているために決まってしまう。		
			(外部評価)		
			事業所では、毎日入浴できるように準備をされており、朝に入浴を希望される方もおられる。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			眠れない方には、極力眠剤を服用せず、眠くなるまで夜間リビングでのんびり会話しているが、眠剤の服用に関しては職員の中で意見が分かれる。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			頻繁な外出によって、楽しんでもらっているが、それぞれの役割は定まっていない。何気ない手伝い等の声掛けによって、利用者同士のトラブルも発生するため、検討を重ねる必要がある。		
			(外部評価)		
			通院の帰りに友人宅を訪問される利用者もおられる。1泊2日の旅行に行くことについて、楽しみに計画すずめておられる利用者もおられた。		今後も、ご家族の協力等も得ながら、ご本人の楽しみごとや喜びをさらに支援していかれることが期待される。
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			希望があれば、本人に金銭をわたしているが、利用者によっては、検討違いによって不快な思いをさせてしまうことがある。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			季節を肌で感じる事が、心身の活性につながることを期待し、週に二回ドライブに出かけている。		
			(外部評価)		
			調査訪問時、おしゃれをしてお出かけをされている方がうかがえた。利用者の希望により買い物や外食に出かけることもある。		
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			利用者個別に受診から帰る途中に、友人宅を訪問したりしている。今年中には、家族同行で一泊二日の小旅行を計画進行中。		
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			手紙も電話も、本人が希望すれば支援している。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			24時間面会自由で、事前の連絡も不要にしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) やむを得ず拘束の必要がある場合、或は、日々のケアの中で拘束に抵触していることはないか、身体拘束廃止委員会を設置し、月に一度慎重に検討、監視を行っている。		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 施錠についても、身体拘束廃止委員会が担当しているが、施錠はしていない。		
			(外部評価) ユニットの入り口にカギをかけることもある。		さらに、職員は、施錠やスピーチロックもなくしていきたいと話しておられた。今後、すべての職員で知識を深めていかれることが期待される。
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 職員がリビングに必ず一名以上は居るようにし、職員同士声掛けしながら、利用者の居場所の把握に努めている。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 現在において、物品の管理の必要性は特にはない。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) インシデントレポートにて、アクシデントに至らないよう事故防止対策に取り組んでいるが、同ケースのインシデントが多い。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 利用者の状態別における急変時の対応は、看護師を含むカンファレンスで統一している。		救命救急の講習を受ける必要がある。
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 消防署の協力を得て、通報訓練、避難訓練を実施している。  (外部評価) 地震対策として、洗面所上の物置を取り除かれていた。地域の協力者の方々に事業所内の様子を見てもらっている。		次回は、地域の方の協力を得た訓練を実施する必要がある。  今後、平日の日中に火災時の避難訓練を行なうことを予定されていた。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 起こり得るリスクに対して、個別に家族と話す機会を持ち、対応策を検討している。必要であれば、担当医を交えて話をしている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 少しでも異変に気付けば、バイタル測定を行い、その時点の勤務者及び看護師によって対応する。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 処方箋を個人別ファイルに保管し、いつでも確認できるようにしているが、副作用などは職員が把握できていない。		この機会にしっかりと把握する必要がある。
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 出来る限り、下剤に頼らないように毎朝の手作りヨーグルトを食べていただいている。また、栄養士によって、食物繊維がしっかりと摂れるような献立にしている。		
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後の声掛けや介助にて歯磨きを行い、就寝前には必ず義歯洗浄を行う。また、歯磨きの不可能な利用者には、スポンジとジェルにて口腔ケアを行っている。		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 一日の栄養摂取総量を栄養士が計算し、献立をたてている。また、残食量等も記録し、職員が食事摂取量を把握できる。水分摂取量が制限されている利用者については、水分摂取量も記入している。		
			(外部評価) 栄養士が献立を立てておられ、彩りよく利用者が食欲を高められるよう盛り付けも工夫をされていた。		さらに、食事のことについてご家族等の意見もうかがえるような機会を作ってみてはどうだろうか。
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) 日常でペーパータオルを使用し、毎日の清掃はアルコールを使用している。他施設で感染の情報があれば、早急に感染対策マニュアルをリビングに貼るようにしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>食器は、乾燥機を利用して殺菌している。また、食材は買い置きせず、二日に一度買い物に行っている。</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>玄関は日中開けておき、出入り自由になっている。玄関先にはプランターを置き、近所の方が花を植えてくれる。また、玄関先の縁台で、職員、利用者、近所の方が時々お茶を飲む。</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>季節感が味わえるように、飾り付けをし、目の不自由な方には風鈴などの音によって季節を楽しんでもらっている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>共用空間には、手作りカレンダーや利用者が作成した習字が飾られていた。窓から季節の移り変わりが眺められる。</p>		
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>リビングの一角に小さなまるテーブルを置いている。また、リビングの畳コーナーも使用してもらっている。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			利用者が使い慣れたものを、家族から持ってきていた だいたり、取りに伺ったりしている。電気製品の持ち 込み自由で、棚をつけるのも自由と言うことも説明し てある。		
			(外部評価)		
			ご本人の希望に沿ったしつらえを支援されており、た んすや机・ポータブルトイレ等を持ち込んでおられる 方もあった。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	(自己評価)		
			温度計を取り付け、室温の管理をしているが、リビング の中に台所があるため、なかなか空気の淀みが解消 できない。匂いについても、色々な対策をし、近所 の方が来られたときに聞いているが、尿臭がなかなか解 消できない。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	(自己評価)		
			トイレや廊下には手摺りを設置している。夜間歩行が 不安定な利用者のために、椅子をトイレ横に置き、手 摺り代わりにしたり、廊下中央に置いたり工夫してい る。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	(自己評価)		
			混乱状況が続く場合には、本人の欲求を受け入れ、不 安を取り除く為、原因をカンファレンスで話し合っ ている。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			庭に畑を設け、季節に合わせた野菜を植えたり、収穫 して皆で食べたりして楽しんでいる。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ① ほぼ全ての利用者の ② 利用者の2/3くらいの ③ 利用者の1/3くらいの ④ ほとんど掴んでいない	利用者の思い、願いは日々の会話の中である程度聞くことができるが、しっかり把握できるに至っていないと思う。
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ① 毎日ある ② 数日に1回程度ある ③ たまにある ④ ほとんどない	一日のうち、数回は職員と利用者がゆっくりと過ごしている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	時間的な決まりごとは無いため、自由な時間を過ごされている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	ドライブに行ったり、冗談言ったり、歌と一緒に歌ったり、会話を楽しんだりすることが、何より生き生きしている。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	出来る限り、戸外に出かけたいという希望を聞いているが、職員の勤務都合によっては、希望を聞けない場合もある。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	バイタル測定時には、異常がないことをしっかり伝えている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	何度も利用料の心配をされる利用者が居られるが、随時説明することで安心されている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (自己評価) ① ほぼ全ての家族と ② 家族の2/3くらいと ③ 家族の1/3くらいと ④ ほとんどできていない	面会に来られる家族は多く、職員と幅広い会話をし、十分なコミュニケーションが図られている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ① ほぼ毎日のように ② 数日に1回程度 ③ たまに ④ ほとんどない	



項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	①大いに増えている (自己 2 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	
98	①ほぼ全ての職員が (自己 2 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	
99	①ほぼ全ての利用者が (自己 ②利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	食事制限や水分制限の必要な方にとっては、満足してはいないと思う。
100	①ほぼ全ての家族等が (自己 ②家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	気になる点があれば、気軽に言ってくれているが、改善が遅れることも多い。

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**  
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

木の花の目標は、「職員の笑顔、利用者の笑顔、家族の笑顔」です。職員の本当の笑顔こそ、全ての笑顔の源だと考えています。